

# 入院診療計画書② 鼠径ヘルニア根治術メッシュプラグ法(3泊4日)

患者ID: 患者ID  
 患者氏名: 氏名

主治医氏名: 氏名  
 担当看護師氏名: 担当看護婦

新規作成日: 新規作成日

日付	#####	#####	#####	1/1	1/2	
	1日前	当日(術前)	当日(術後)	1日後	2日後	
目標		身体的準備ができています	麻酔から覚醒する			
	消化管の症状・所見がない			疼痛のコントロールができています		
	手術について理解できる					
				日常生活の注意点について理解できる		
投薬		医師に指示があるまでは内服薬は中止となります。		医師の指示により、持参薬の再開と痛み止めの内服が出来ます。		
注射		手術室に行く前に点滴をします。朝1番の手術の場合は手術室で点滴をします。 	引き続き点滴をします。手術終了後に抗生物質の点滴をします。 	医師の指示にて点滴を終了します。		
検査	放射線		 手術後ベッド上でレントゲン撮影があります。			
				心電図のモニターをつけ、酸素を吸入をします。創の観察をします。	回診時創の消毒をし、防水性の絆創膏を貼ります。 	回診時創部の観察をします。 
看護情報	入院時と午後の2時に検温があります。 	手術室に行く前に検温をします。 	手術直後、30分後、2時間後、20時に検温します。	検温を午前と午後に行いません。	起床時に検温をします。	
	入院時の身長と体重を測定します。手術に必要な物品の説明をします。 		術後はベッド上安静となります。安全のためベッド柵を両側に設置します。血栓予防のために足に機械を巻きます。 	痛み止めを使いながら看護師と少しずつ身体を動かしていきます。点滴や管がありますので、一人での活動は看護師に確認してから行うようにご協力ください。 	生活動作はできるだけ腹圧をかけないように注意してください。手術後1ヶ月間は重労働を避けてください。	
	手術説明の日時は入院後病棟にてお知らせします。説明の際はご家族の同席をお願いします。同意書に署名をして看護師まで提出してください。					
	安静度の制限は特にありません。					
	麻酔科医と手術室の看護師の訪問があります。わからないことがあればお聞きください。					
食事	 夕食までは食事が出来ます。それ以降は絶食です。飲水は指示された時間まで可能です。	朝6時より絶食になります。	医師の指示にて食事が再開されます。術後当日は安静のためベッド上で食事となります。	米飯食になります。(検温時に摂取量を確認します)	食事に制限はありません。便通を良くする食事を摂取し、水分を多めに取るようにしましょう。	
排泄			ベッド上で寝たままの排泄となります。排尿がない場合は管を入れる場合があります。 	膀胱に管が入っている場合は医師に確認後、抜去します。	術後1ヶ月間は、排便時力むことは避け、排便のコントロールする必要があります。医師の指示により下剤を使用します。お仕事のある方は医師と相談してから始めましょう。	
清潔	手術に備えシャワーに入ってください。 	手術前に洗面、歯磨きを済ませてください。	ベッド上安静となるため洗面は看護師がお手伝いします。	安静解除後、身体拭きをお手伝いします。 	シャワー浴ができます。次回外来日までは入浴は控えてください。 	
リハビリ			今回はリハビリは、ありません。			
指導	入院生活や手術についてのオリエンテーションがあります。全身麻酔を受けられる方へのパンフレットで手術前後の流れについて説明します。 	貴重品は、セーフティーボックスまたはご家族が管理してください。義歯・コンタクトレンズ・貴金属は手術室へ行く前に外してください。 	創の痛みが強いときは痛み止めを使用して痛みを和らげます。手術後の出血、ヘルニアの再脱出を予防するため、医師の許可が出るまでベッド上安静を守ってください。横向きになる程度は可能です。 	退院後についての注意点、食事・清潔・排便についてパンフレットに沿ってお話させていただきます。 	看護師より退院の書類をお渡しして説明します。	